



2020年11月6日

各 位

会 社 名 不二製油グループ本社株式会社  
 代表者名 代表取締役社長 CEO 清水 洋史  
 (コード：2607、東証第1部)  
 問合せ先 財務・経理グループリーダー 渡部 格  
 (TEL. 06-6459-0731)

## 第2四半期累計期間業績予想と実績との差異及び通期業績予想の修正並びに剰余金の配当(中間配当)及び期末配当予想の修正に関するお知らせ

2020年5月12日に公表しました2021年3月期第2四半期連結累計期間の業績予想と、本日公表の実績に下記のとおり差異が生じたのでお知らせいたします。

また、2021年3月期の通期業績予想の修正並びに2020年9月30日を基準日とする剰余金の配当(中間配当)及び期末配当予想の修正につきまして、下記のとおり決定いたしましたので併せてお知らせいたします。

### 記

#### 1. 2021年3月期第2四半期連結累計期間業績予想と実績との差異 (2020年4月1日～2020年9月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
前回発表予想(A)	百万円 155,000	百万円 5,500	百万円 4,900	百万円 2,700	円 銭 31.41
実績値(B)	172,589	7,338	6,835	4,318	50.24
増減額(B-A)	17,589	1,838	1,935	1,618	
増減率(%)	11.3	33.4	39.5	59.9	
(ご参考)前期第2四半期実績 (2020年3月期第2四半期)	191,585	9,127	8,328	6,212	72.28

#### 2. 2021年3月期通期連結業績予想の修正 (2020年4月1日～2021年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想(A)	百万円 370,000	百万円 19,300	百万円 17,800	百万円 11,500	円 銭 133.79
今回修正予想(B)	360,000	16,500	15,300	10,000	116.33
増減額(B-A)	△10,000	△2,800	△2,500	△1,500	
増減率(%)	△2.7	△14.5	△14.0	△13.0	
(参考)前期実績 (2020年3月期)	414,727	23,598	22,359	16,375	190.51

(注) 前期実績は、在外連結子会社19社の決算期の変更により、当該連結子会社が2019年1月1日から2020年3月31日までの15ヵ月決算となっております。2019年4月1日～2020年3月31日の12ヵ月間として調整した金額は以下の通りです。

(参考)前期実績 調整後 (2020年3月期)	383,672	21,459	20,284	14,693	170.93
----------------------------	---------	--------	--------	--------	--------

●差異及び連結業績予想修正の理由

(1) 第2四半期連結累計期間業績予想値と実績値の差異について

第2四半期連結累計期間につきましては、前回公表時の想定よりも原料相場価格が上昇したことや販売数量が想定を上回ったことにより、売上高が増加となりました。また、Blommer Chocolate Company における先物評価益の計上による増益、およびブラジルにおける営業損失が想定を下回ったこと並びに円高に進んだことによる営業損失の改善により、営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する四半期純利益が増益となりました。なお、新型コロナウイルス感染症の影響額につきましては、概ね前回公表時に想定した水準となりました。

(2) 通期連結業績予想の修正について

第2四半期連結累計期間につきましては、上記(1)に記載のとおり当初の公表値を上回りましたが、新型コロナウイルス感染症の影響に関する前提条件の変更および想定為替レートの変更により、通期連結業績予想を下方修正いたしました。

なお、新型コロナウイルス感染症の影響につきましては、前回公表時では第2四半期連結累計期間までその影響を織り込んでおりましたが、第3四半期連結会計期間以降は予測することが困難であったため影響を織り込んでおりませんでした。現在の状況に基づき検討した結果、新型コロナウイルス感染症の影響は当連結会計年度末まで継続するという前提条件に変更しております。また、想定為替レートは、足元の状況を鑑み、米ドル、ユーロ、中国元、ブラジルレアルいずれも前回公表時の想定よりも円高になると想定を変更しております。

3. 剰余金の配当(中間配当)及び期末配当予想の修正

(1) 剰余金の配当(中間配当)の内容

	決定額	直近の配当予想	前期実績
基準日	2020年9月30日	同左	2019年9月30日
一株当たり配当金	26円00銭	29円00銭	27円00銭
配当金の総額	2,237百万円	—	2,320百万円
効力発生日	2020年12月10日	—	2019年12月10日
配当原資	利益剰余金	—	利益剰余金

(2) 期末配当予想の修正の内容

基準日	1株当たり配当金(円)		
	第2四半期末	期末	合計
前回予想	29円00銭	29円00銭	58円00銭
今回修正予想	<del>29円00銭</del>	26円00銭	52円00銭
当期実績	26円00銭	<del>29円00銭</del>	<del>55円00銭</del>
前期実績 (2020年3月期)	27円00銭	29円00銭	56円00銭

●剰余金の配当(中間配当)及び期末配当予想の修正の理由

当社は株主の皆様への利益還元を経営の重要課題の一つとして認識をしており、株主配当につきましては、配当性向30%~40%を目安とし、生産設備投資、新規事業投資及び研究開発投資などの経営基盤強化や成長戦略のために必要な内部留保資金を維持しつつ、長期的な視野に立った安定的かつ継続的な配当を行うことを基本方針としております。

上記の方針に基づき、本日の業績予想の修正を踏まえ、中間配当につきましては、本日開催の当社取締役会において、1株あたり3円減額し、1株あたり26円とさせていただくことを決定いたしました。また、期末配当につきましても同様に、1株あたり3円減額し、1株あたり26円に修正いたします。

(注) 上記に記載した予想数値は、当社が現在入手している情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因により大きく異なる可能性があります。

以上